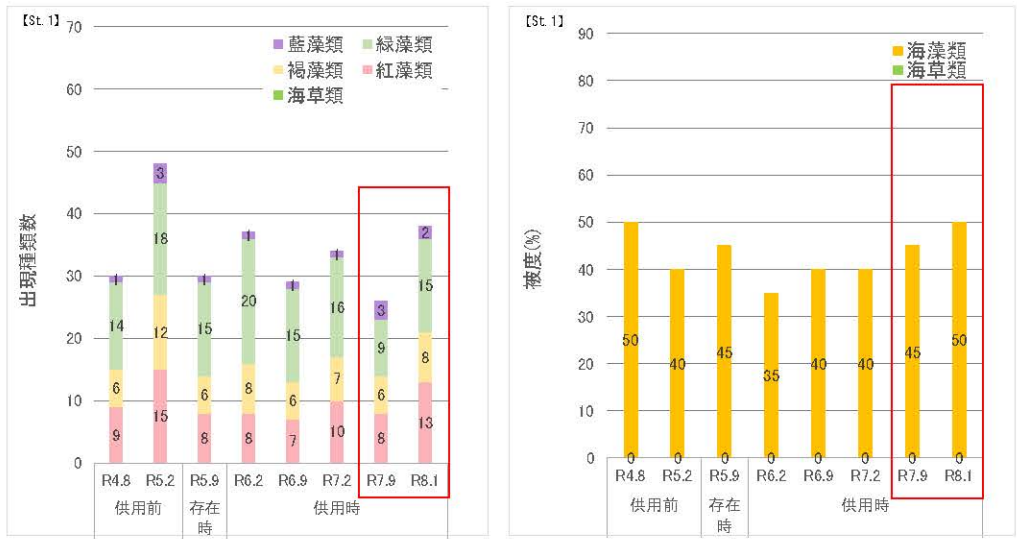


供用時 (R8. 1)

供用時 (R7. 9)

図 7.1.1-5 コドラート内の確認状況の経年変化 St. 5 (その 3)



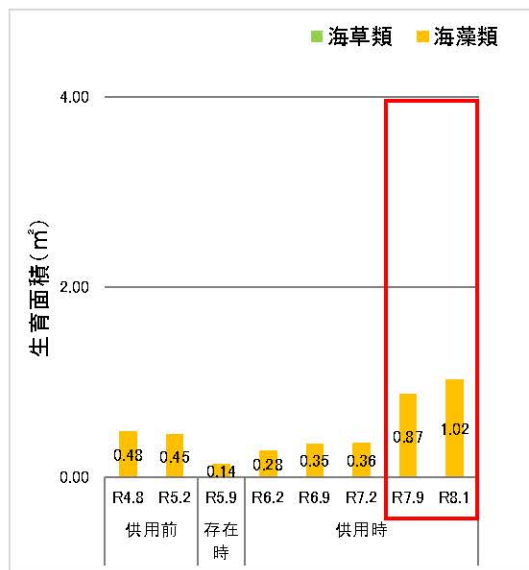
注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.1.1-6 St. 1における海藻藻類の生育状況の経年変化（出現種数・被度）

表 7.1.1-2 St. 1における重要な海藻藻類の生育面積・被度の経年変化

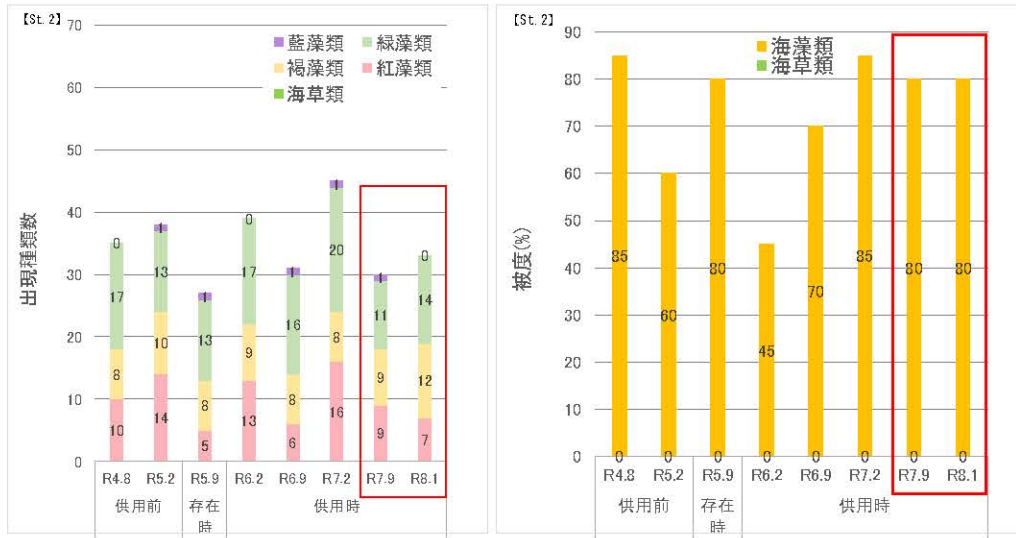
調査地点	重要な海藻藻類	供用前		存在時		供用時											
		令和4年8月		令和5年2月		令和5年9月		令和6年2月		令和6年9月		令和7年2月		令和7年9月		令和8年1月	
		面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)
St.1	海藻類(合計)	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
	キザミズタ												0.00	<1			
	イテイズタ							0.00	<1								
	ナガミズタマ	0.01	<1	0.01	<1	0.00	<1	0.01	<1	0.03	<1	0.01	<1				
	ウスガサネ					0.00	<1	0.00	<1							0.00	<1
	カサノリ							0.00	<1								
	ヤバネモク	0.48	<5	0.43	<5	0.13	<5	0.26	5	0.32	10	0.34	15	0.87	10	0.99	20
	カラカサモク							0.00	<1	0.01	<1					0.02	<1
	ジュズフサノリ			0.00	<1			0.00	<1								
	フクレソゾ			0.00	<1							0.01	<1				
	海藻類(合計)	0.48	<5	0.45	<5	0.14	<5	0.28	5	0.35	10	0.36	15	0.87	10	1.02	20
合計	0.48	<5	0.45	<5	0.14	<5	0.28	5	0.35	10	0.36	15	0.87	10	1.02	20	

注1) 混生している海藻類の生育面積の合計は、重複している箇所を除いた。
 注2) □は本調査期間で実施した結果を示した。



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.1.1-7 St. 1における重要な海藻藻類の生育面積の経年変化



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

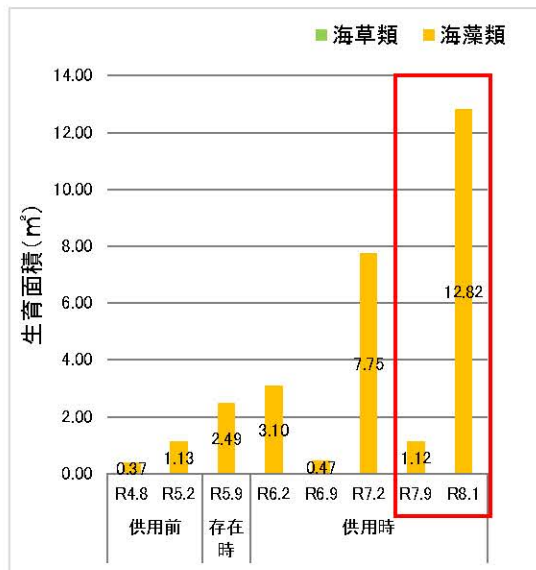
図 7.1.1-8 St. 2における海草藻類の生育状況の経年変化（出現種数・被度）

表 7.1.1-3 St. 2における重要な海草藻類の生育面積・被度の経年変化

調査地点	重要な海草藻類	供用前		存在時		供用時											
		令和4年8月	令和5年2月	令和5年9月	令和6年2月	令和6年9月	令和7年2月	令和7年9月	令和8年1月	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)				
St2	海藻類(合計)	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0		
	キザミズタ									0.00	<1						
	イチイヅタ							0.00	<1			0.01	<1				
	ナガミズタマ	0.00	<1	0.00	<1			0.05	<1	0.00	<1	0.01	<1				
	ウスガサネ					0.00	<1	0.02	<1	0.00	<1	0.03	<1		0.01		
	カサリ							0.00	<1								
	ヤバネモク	0.09	<1	0.08	<1	0.24	<5	0.31	<5	0.41	10	0.18	<5	0.74	20	0.12	5
	カラクサモク	0.28	5	1.03	15	2.24	10	2.71	35	0.05	<5	7.51	60	0.38	10	12.69	50
	フクレソソ			0.00	<1							0.02	<1				
	海藻類(合計)	0.37	5	1.13	15	2.49	10	3.10	35	0.47	15	7.75	65	1.12	30	12.82	55
	合計	0.37	5	1.13	15	2.49	10	3.10	35	0.47	15	7.75	65	1.12	30	12.82	55

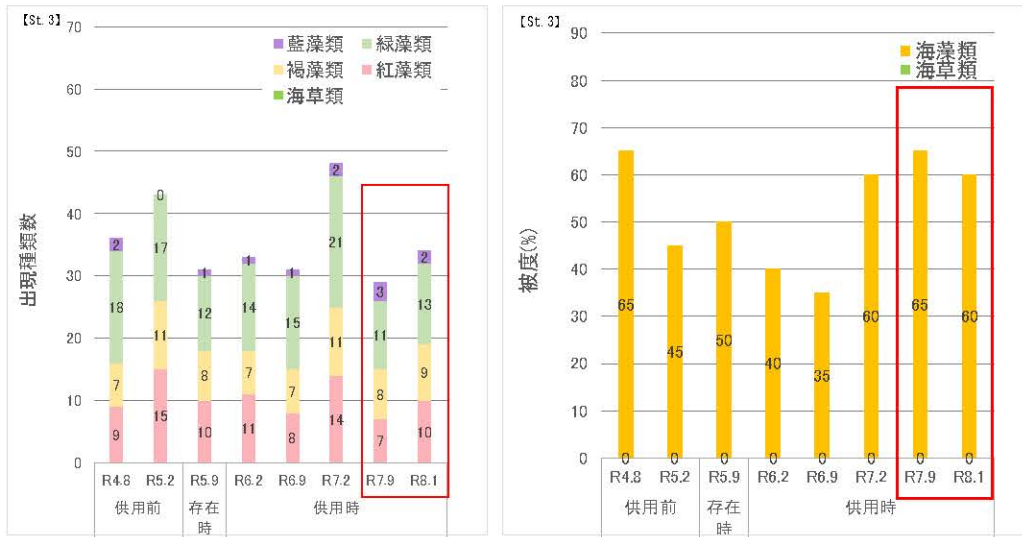
注1) 混生している海草類の生育面積の合計は、重複している箇所を除いた。

注2) □は本調査期間で実施した結果を示した。



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.1.1-9 St. 2における重要な海草藻類の生育面積の経年変化



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

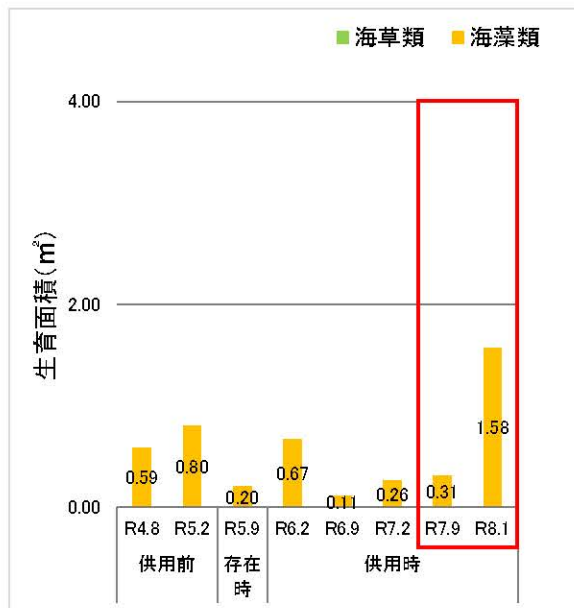
図 7.1.1-10 St. 3における海草藻類の生育状況の経年変化（出現種数・被度）

表 7.1.1-4 St. 3における重要な海草藻類の生育面積・被度の経年変化

調査地点	重要な海草藻類	供用前		存在時		供用時											
		令和4年8月		令和5年2月		令和5年9月		令和6年2月		令和6年9月		令和7年2月		令和7年9月		令和8年1月	
		面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)
St.3	海草類(合計)	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
	ナガミズタマ	0.05	<1	0.01	<1	0.00	<1	0.00	<1	0.01	<1	0.01	<1	0.00	<1		
	ウスガサネ			0.00	<1	0.00	<1	0.01	<1	0.01	<1	0.01	<1				
	ヤバネモク	0.05	<1	0.02	<1	0.02	<1	0.06	<1	0.10	<1	0.08	5	0.19	5	0.27	5
	カラクサモク	0.50	<5	0.78	5	0.18	<5	0.59	<5	0.00	<1	0.16	5	0.12	<5	1.31	20
	フクレソゾ			0.01	<1												
	海藻類(合計)	0.59	<5	0.80	5	0.20	<5	0.67	<5	0.11	<5	0.26	10	0.31	10	1.58	25
合計	0.59	<5	0.80	5	0.20	5	0.67	<5	0.11	<5	0.26	15	0.31	10	1.58	25	

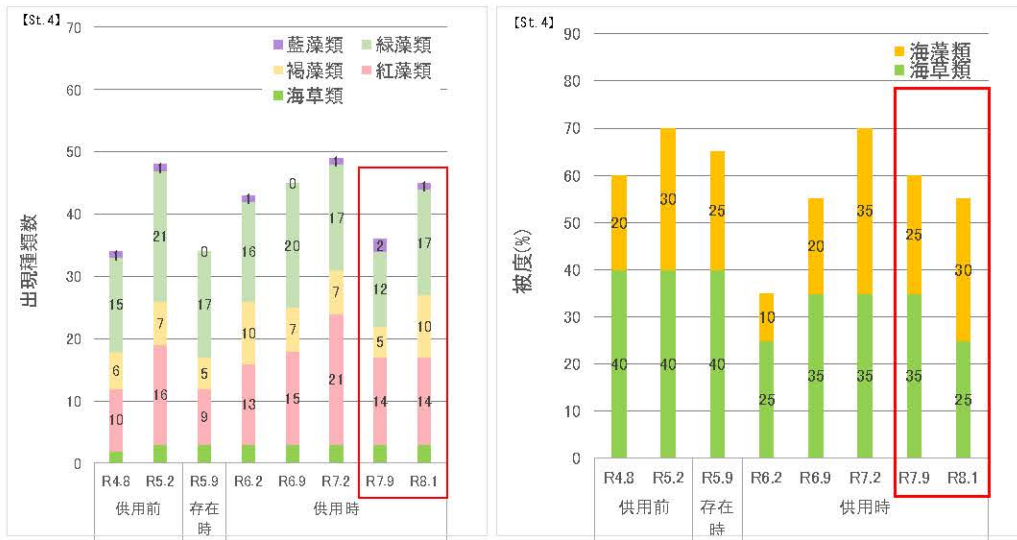
注1) 混生している海草類の生育面積の合計は、重複している箇所を除いた。

注2) □は本調査期間で実施した結果を示した。



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.1.1-11 St. 3における重要な海草藻類の生育面積の経年変化



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

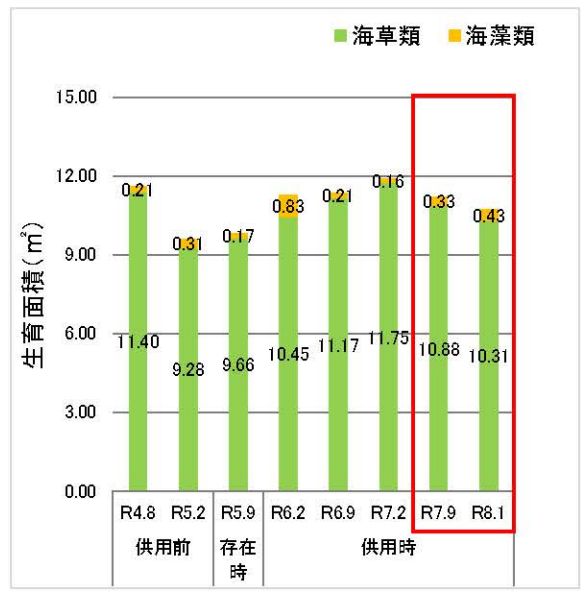
図 7.1.1-12 St. 4における海草藻類の生育状況の経年変化（出現種数・被度）

表 7.1.1-5 St. 4における重要な海草藻類の生育面積・被度の経年変化

調査地点	重要な海草藻類	供用前		存在時		供用時											
		令和4年8月	令和5年2月	令和5年9月	令和6年2月	令和6年9月	令和7年2月	令和7年9月	令和8年1月								
		面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)				
St.4	マツノウミジグサ	2.68	5	3.10	10	5.00	5	5.90	5	4.63	5	1.71	5	2.54	5	4.47	10
	リュウキュウスガモ	11.40	35	9.21	30	9.64	35	10.24	20	11.17	30	11.75	25	10.88	30	8.79	10
	オオウミシルモ			0.07	<1	0.08	<1	0.21	<1	0.10	<1	0.48	5	0.38	<5	2.88	5
	海草類(合計)	11.40	40	9.28	40	9.66	40	10.45	25	11.17	35	11.75	35	10.88	40	10.31	25
	ナガミスタマ	0.02	<1	0.04	<1	0.01	<1	0.59	5	0.01	<1	0.01	<1	0.01	<1	0.01	<1
	ウスガサネ	0.00	<1	0.02	<1	0.01	<1	0.04	<1	0.01	<1	0.01	<1			0.02	<1
	カサブリ			0.01	<1			0.01	<1			0.00	<1				
	ヤバネモク	0.18	<5	0.24	<5	0.15	<5	0.10	<5	0.18	<5	0.13	5	0.32	5	0.35	5
	カラクサモク			0.01	<1			0.10	<1							0.05	<1
	フクレソフ			0.00	<1												
	海藻類(合計)	0.21	<5	0.31	<5	0.17	<5	0.83	5	0.21	<5	0.18	5	0.33	5	0.43	5
	合計	11.61	40	12.69	40	9.83	40	11.28	30	11.37	40	11.91	40	11.20	45	10.74	30

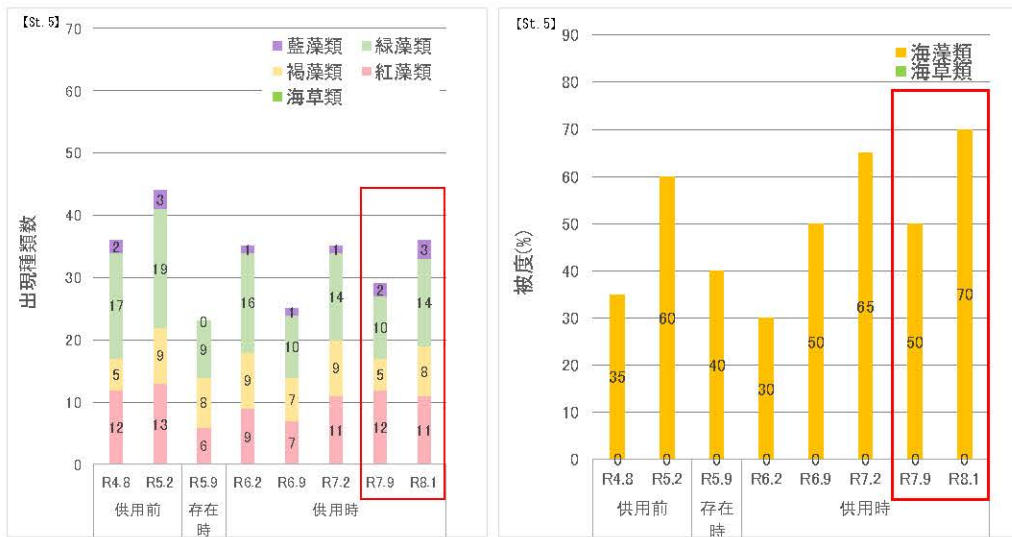
注1) 混生している海草類の生育面積の合計は、重複している箇所を除いた。

注2) □は本調査期間で実施した結果を示した。



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.1.1-13 St. 4における重要な海草藻類の生育面積の経年変化



注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

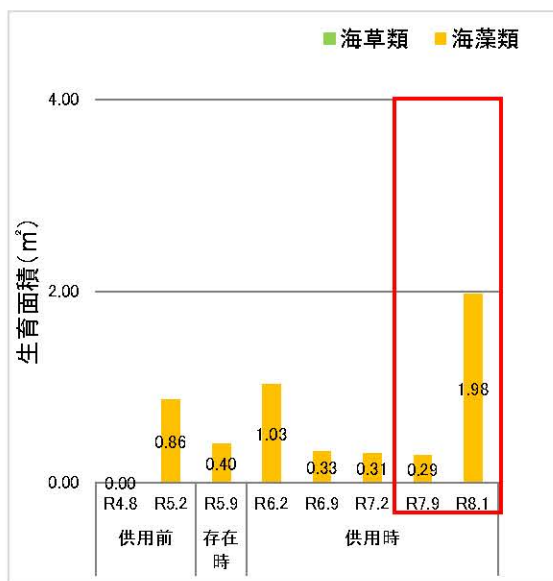
図 7.1.1-14 St. 5における海草藻類の生育状況の経年変化（出現種数・被度）

表 7.1.1-6 St. 5における重要な海草藻類の生育面積・被度の経年変化

調査地点	重要な海草藻類	供用前		存在時		供用時											
		令和4年8月		令和5年2月		令和5年9月		令和6年2月		令和6年9月		令和7年2月		令和7年9月		令和8年1月	
		面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)	面積(m ²)	被度(%)
St.5	海草類(合計)	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
	ナガミズタマ	0.00	<1	0.00	<1			0.09	<1	0.00	<1	0.01	<1			0.00	<1
	ウスガサネ	0.00	<1					0.03	<1			0.01	<1	0.00	<1	0.00	<1
	ヤバネモク			0.08	<1	0.09	<1	0.15	<1	0.33	5	0.24	5	0.28	5	0.43	10
	カラクサモク			0.78	<5	0.32	<5	0.75	<5			0.05	<5			1.54	20
	フイリグサ									0.00	<1						
	フクレソソ			0.00	<1									0.00	<1		
	海藻類(合計)	0.00	<1	0.86	<5	0.40	<5	1.03	<5	0.33	5	0.31	5	0.29	5	1.98	30
合計	0.00	<1	0.86	<5	0.40	<5	1.03	<5	0.33	5	0.31	5	0.29	5	1.98	30	

注1) 混生している海草類の生育面積の合計は、重複している箇所を除いた。

注2) □は本調査期間で実施した結果を示した。



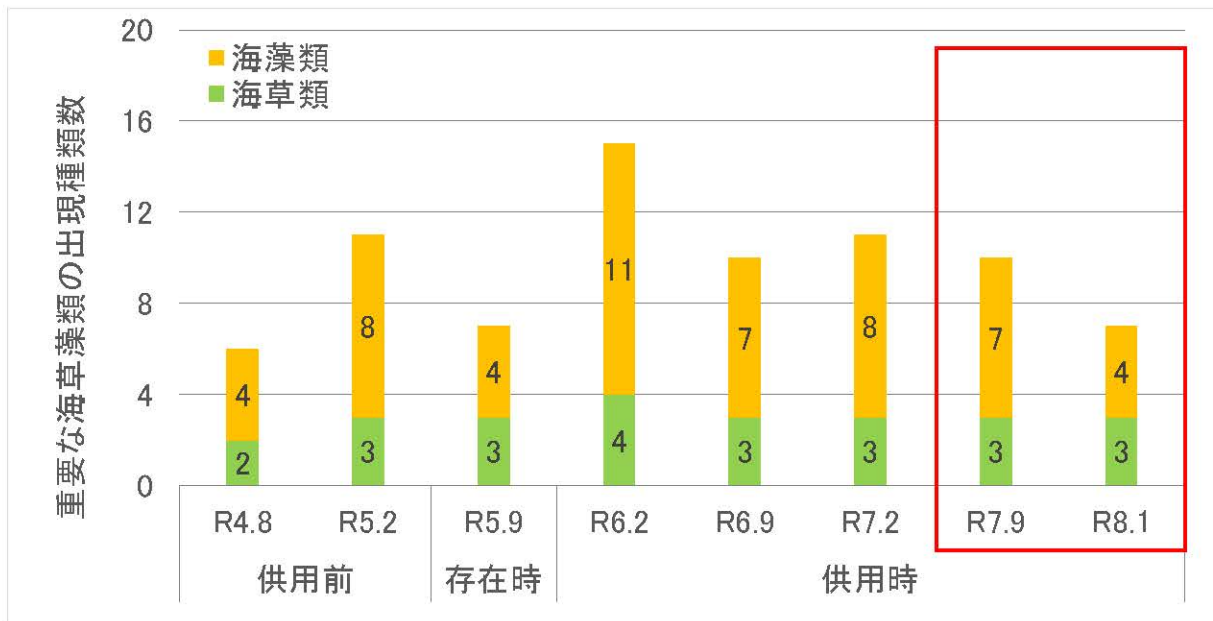
注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.1.1-15 St. 5における重要な海草藻類の生育面積の経年変化

表 7.1.1-7 重要な海草藻類の出現種類数の経年変化

№	門	綱	目	科	種名	学名	供用前			存在時			供用時			天然記念物	環境省 RL	沖縄県 RDB	水産庁 RDB	WWF-J														
							R4.8	R5.2	R5.9	R6.2	R6.9	R7.2	R7.9	R8.1																				
1	緑藻植物	緑藻	イワシタ	キサミイタ	<i>Caulerpa subserata</i>				●		●						VU	VU																
2						カサガ	イワシタ	<i>Caulerpa taxifolia</i>				●		●						VU	VU													
3									ダツクラスス	カガミイタ	<i>Bornetella nitida</i>	●	●	●	●	●	●	●	●			NT	NT											
4												カサガ	カサガ	<i>Cymopolia umbossea</i>	●	●	●	●	●	●	●			VU	VU									
5															褐藻植物	褐藻	ヒハタ	ホンダワラ	ヤハネモク	<i>Acetabularia ryukyuensis</i>	●	●	●	●	●	●			NT	NT	危急			
6	ウミソウメ	コナダ	アカホノモスウ	<i>Sargassum pinnatifidum</i>	●	●	●	●	●	●	●			VU							VU													
7					アサガ	シユスツサガ	<i>Trichogloea requiemii</i>	●	●	●	●	●	●	●									VU	VU										
8								スギノ	ムカデノ	フイウサ	<i>Scinata moniliformis</i>	●	●	●							●	●	●	●			NT	NT						
9	イキス	フジマツモ	フクノツ	<i>Halymena dilatata</i>								●	●	●							●			NT	NT									
10					オモダカ	ヘニエマモ	マツハウミシグサ					<i>Laurencia marianensis</i>		●							●	●	●	●	●			VU	VU					
11	種子植物	単子葉植物	トナリカミ	マツハウミシグサ									<i>Halodule pinifolia</i>	●							●	●	●	●	●	●			NT	VU				
12					オオウミビルモ	オオウミビルモ	<i>Thalassia hemprichii</i>					●		●							●	●	●	●	●	●			NT	NT		普通		
13												オオウミビルモ		オオウミビルモ							<i>Halophila ovalis</i>	●	●	●	●	●	●	●			NT	NT		普通
14																						オオウミビルモ	オオウミビルモ	<i>Halophila major</i>	●	●	●	●	●	●	●			EN
15	出現種数						6					11	7	15	10	11	10	7	0	10	13				1	2								

- 注 1) 重要な種の指定状況は第 5 章 事後調査の項目及び調査の手法と同様である。
 注 2) 本調査結果は枠内及び周辺域で確認された重要な種を示した。
 注 3) □は本年度の調査結果を示した。



注) □は本年度の調査結果を示す。

図 7.1.1-16 重要な海草藻類の出現種類数の経年変化

7.2 海域動物

7.2.1 海域動物の生息状況

1) 大型底生生物

供用前（令和4年9月～令和5年2月）、存在時（令和5年9月：夏季）及び供用時（令和6年2月：冬季）調査別に各地点（St.1～5）について、枠内における大型底生生物の出現種の経年変化一覧は表 7.2.1-1 に、重要な大型底生生物の確認種の経年変化は表 7.2.1-2 に、大型底生生物の出現種類数の経年変化は図 7.2.1-1 に、枠内における重要な大型底生生物の生息状況の経年変化は表 7.2.1-3 及び図 7.2.1-2 に示すとおりです。

枠内における令和7年度の供用時の大型底生生物の出現種数は、存在時と比較すると、St.2 では同程度の種数、St.1、4、5 では夏季に過去最多、St.1、3、5 で冬季に過去最少の種数でした。

枠内外で確認された重要な種の確認種数で比較すると、1～7種で変動しており、令和7年度は夏季に6種、冬季に4種の計9種と供用前及び存在時と比較して若干少ない結果でした。

なお、St.1 でヒメシャコが1～2個体確認されていましたが、令和7年9月にはシマダコが出現したため、面積が増大していました。冬季にはヒメシャコ1個体になり面積も減少していました。その他の地点ではアコヤガイとハスメヨシガイを1回確認していました。枠内の重要種の生息面積は小さく、ヒメシャコのような穿孔している種以外は偶然に確認できたに過ぎないと考えられました。

大型底生生物の出現種でも同様に、出現種の半分以上を占める節足動物、棘皮動物、軟体動物の一部は移動能力を有しているため、偶発的に確認される可能性があり、確認種数に変動が生じるものと考えられます。一方、St.1 で確認されているヒメシャコは岩盤に穿孔して生息しており、移動することはなく毎調査回で確認されています。

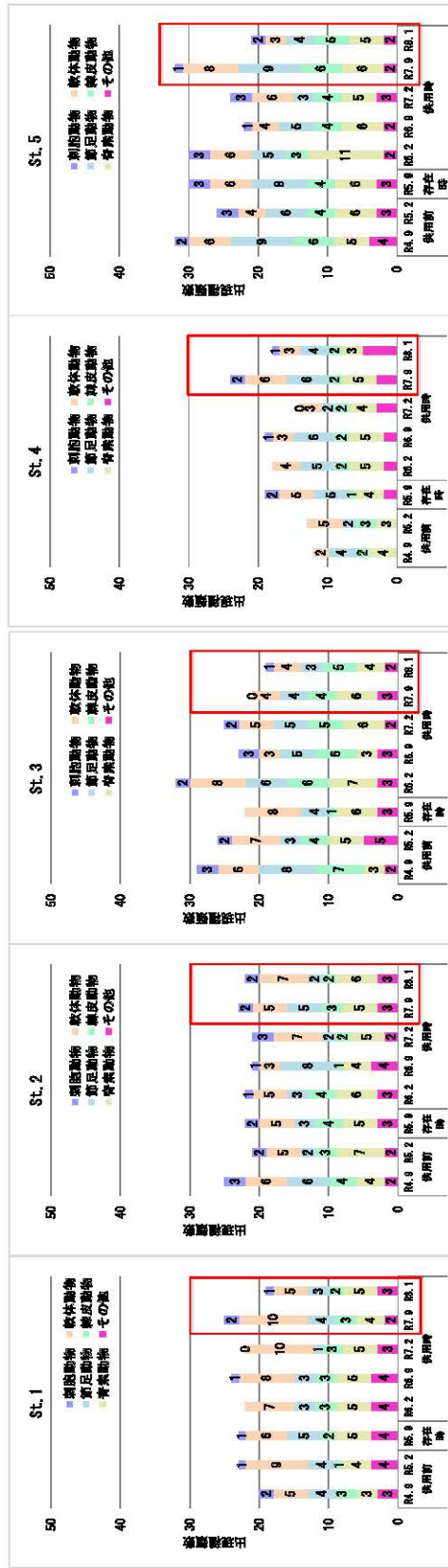
このように、種数についてある程度の変動はあるものの、著しい減少が見られていないほか、固着や穿孔性の生物については毎調査回で確認されていることから、し尿処理施設の処理水の放流による周辺海域への影響は見られていないと考えられます。

表 7.2.1-2 大型底生生物（重要な種）の生息状況の経年変化

No.	門	綱	目	科	種名	供用前			供用時			指定状況							
						RA.8	RS.2	RS.9	RS.2	RS.9	RS.2	RS.9	RA.8	RS.2	RS.9	沖積層 RDB	埋没層 RL	埋没層 RDB	沖積層 RDB
1	軟体動物	腹足	舌腹足	Abdohi															
2			新三腹足	Hydrobia	●														
3				Hydrobia		●													
4				Hydrobia			●												
5				Hydrobia				●											
6				Hydrobia					●										
7				Hydrobia						●									
8				Hydrobia							●								
9				Hydrobia								●							
10				Hydrobia									●						
11				Hydrobia										●					
12				Hydrobia											●				
13				Hydrobia												●			
14				Hydrobia													●		
15				Hydrobia														●	
16				Hydrobia															●
17				Hydrobia															●
18				Hydrobia															●
19				Hydrobia															●
20				Hydrobia															●
21				Hydrobia															●
22				Hydrobia															●
23				Hydrobia															●
24	節足動物	軟甲	十脚	Hydrobia															●
25				Hydrobia															●
26				Hydrobia															●

注1) □は本調査期間で実施した結果を示した。

注2) 指定状況は表5.1-1に示した。



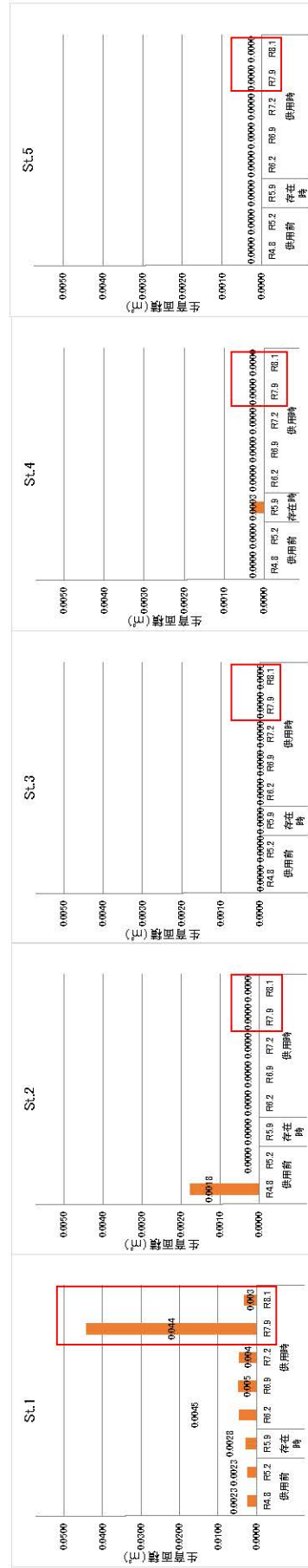
注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

図 7.2.1-1 大型底生生物の出現種数の経年変化

表 7.2.1-3 枠内における重要な大型底生生物の生息状況（面積・個体数）の経年変化

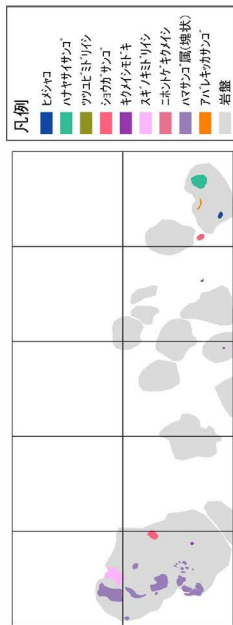
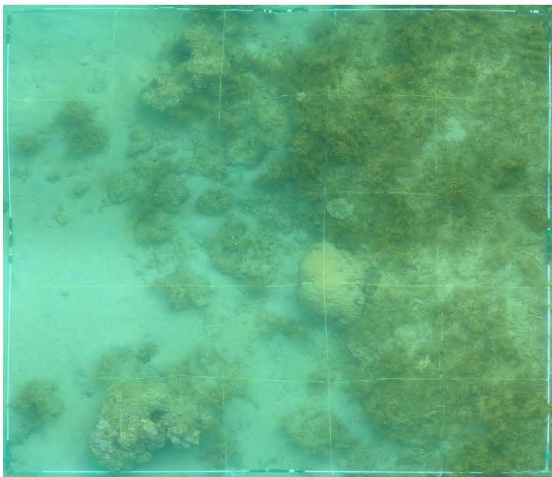
調査地点	大型底生生物	供用前				存在時				供用時							
		令和4年8月		令和5年2月		令和5年9月		令和6年2月		令和6年9月		令和7年2月		令和7年9月		令和8年1月	
		面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数
SL1	ヒメシヤコ	0.002	1	0.002	1	0.003	2	0.004	2	0.005	3	0.004	2	0.003	1	0.003	1
	シマダコ																
	合計	0.002	1	0.002	1	0.003	2	0.004	2	0.005	3	0.004	2	0.003	1	0.003	1
SL2	アコヤガイ	0.002	1														
	合計	0.002	1	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0
	-																
SL3	合計	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0
	ハスメヨシガイ					0.0003	1										
	合計	0.000	0	0.000	0	0.0003	1	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0
SL4	合計																
	合計	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0
	-																
SL5	合計	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0
	-																
	合計	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0

注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

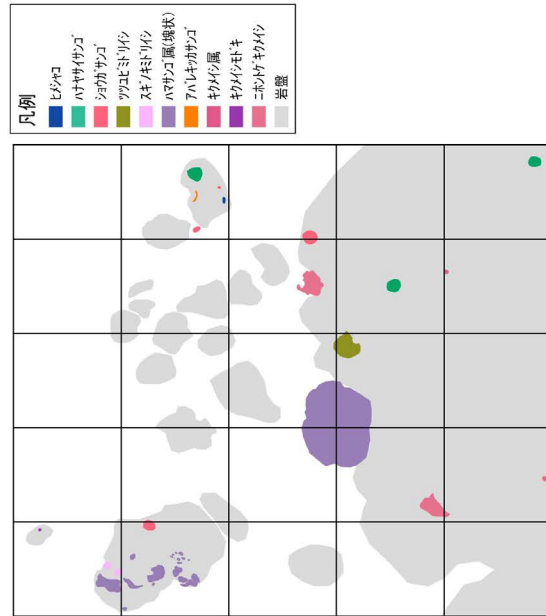
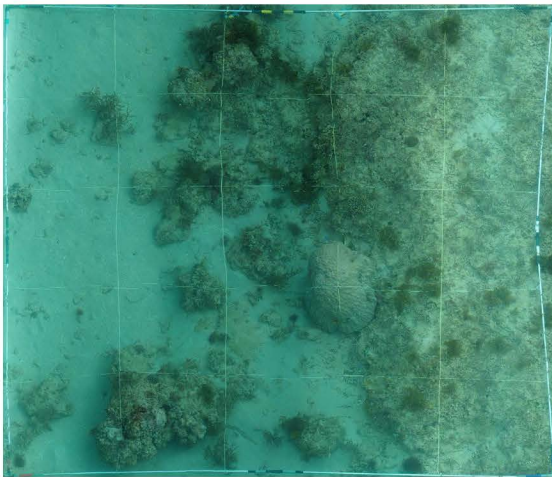


注) □は本調査期間で実施した結果を示した。

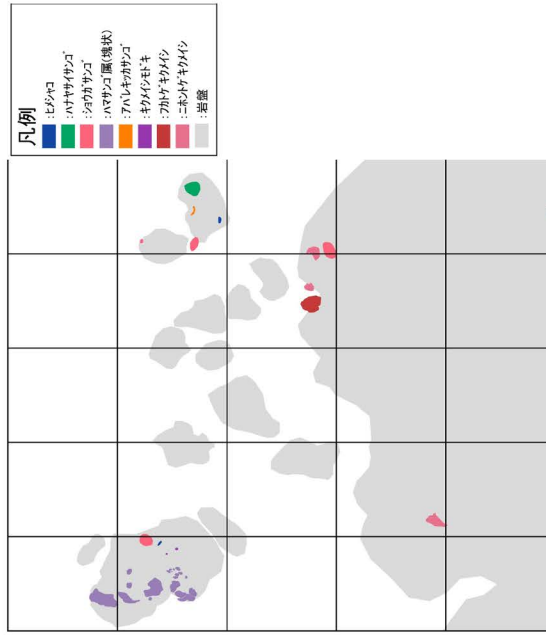
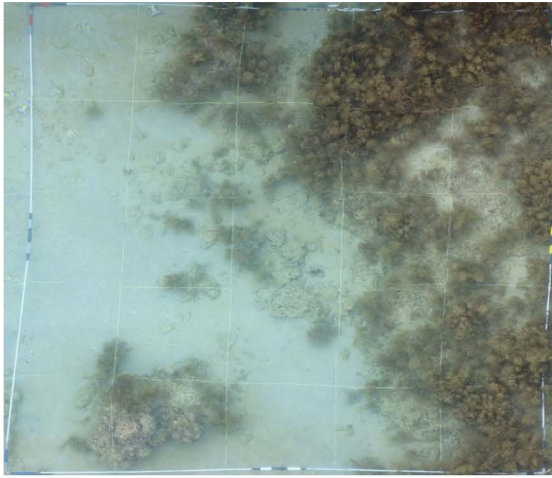
図 7.2.1-2 枠内における重要な大型底生生物の生息状況（面積）の経年変化



供用前 (R4.8)

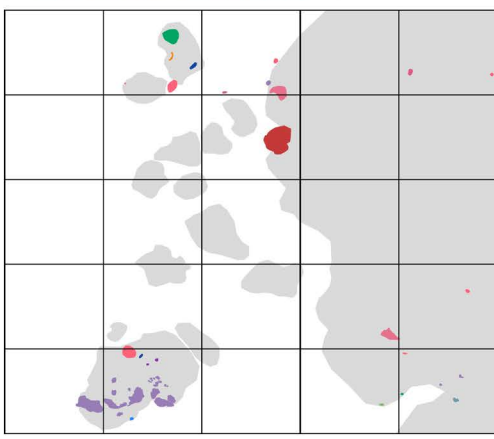
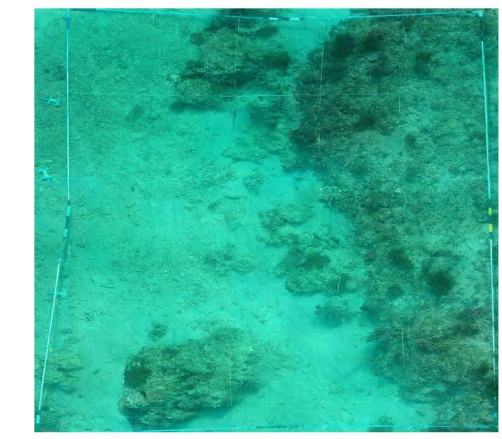


供用前 (R5.2)

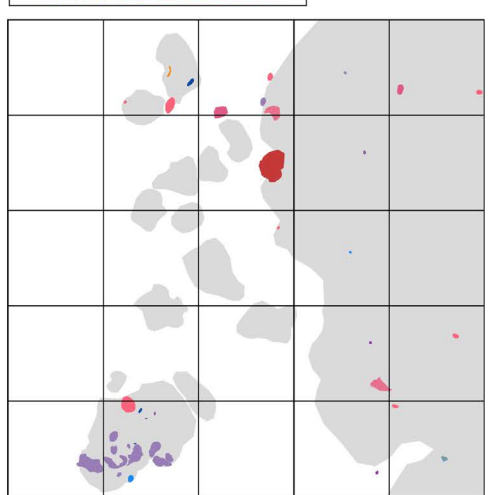
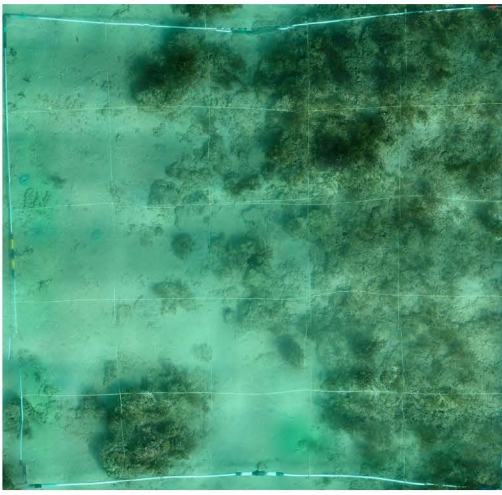


存在時 (R5.9)

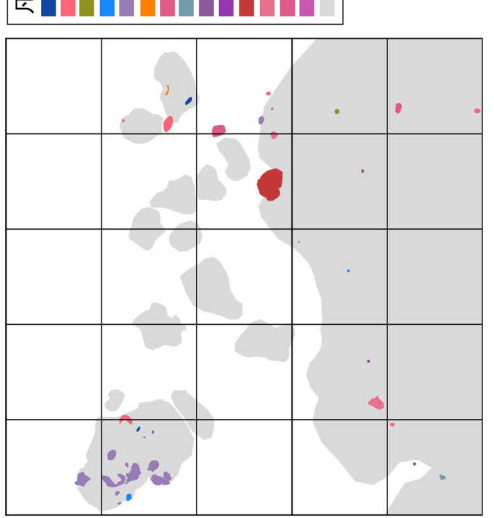
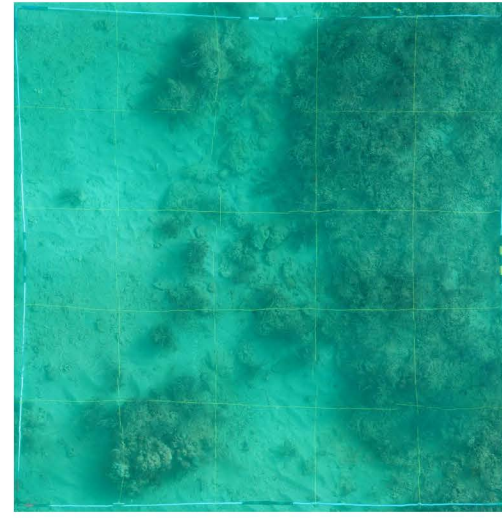
図 7.2.1-3 コドラート内の確認状況の経年変化 St.1 (その1)



供用時 (R6.2)

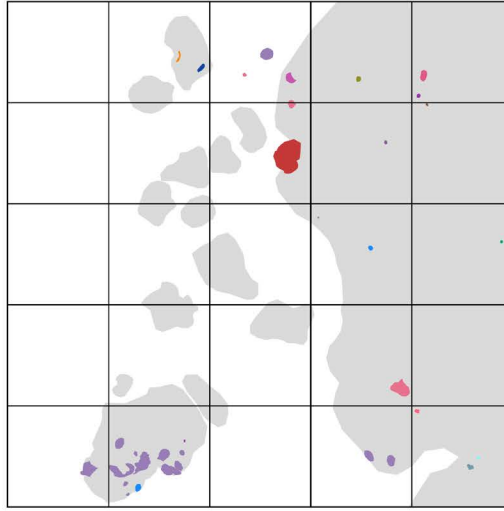
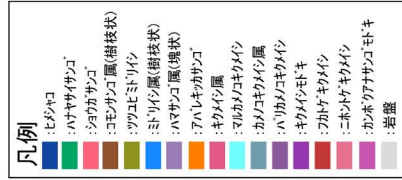
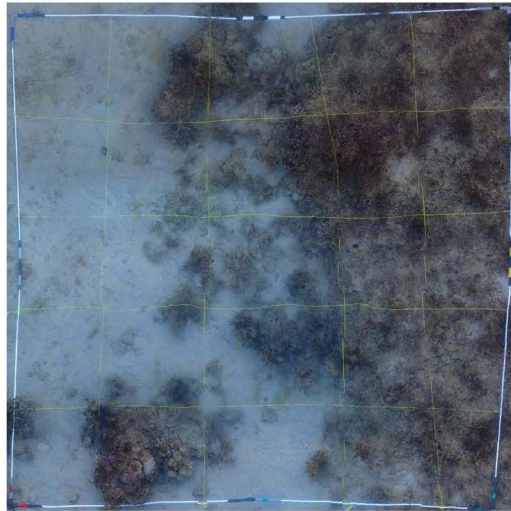
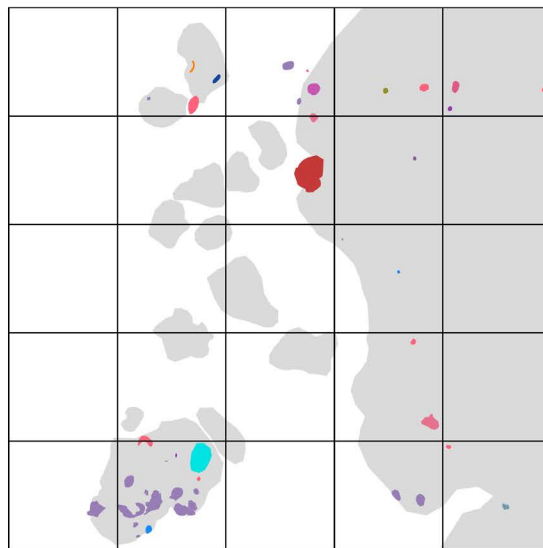
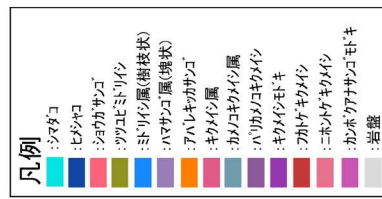
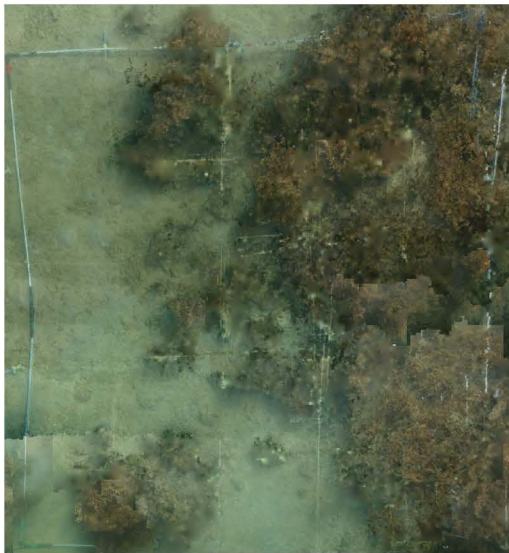


供用時 (R6.9)



供用時 (R7.2)

図 7.2.1-3 コドラート内の確認状況の経年変化 St.1 (その2)

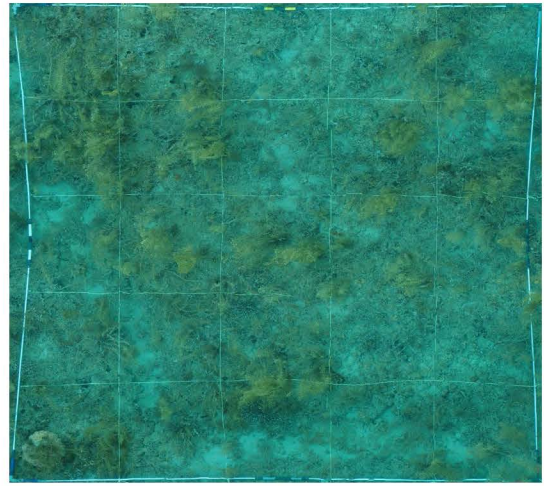


供用時 (R7.9) 供用時 (R8.1)

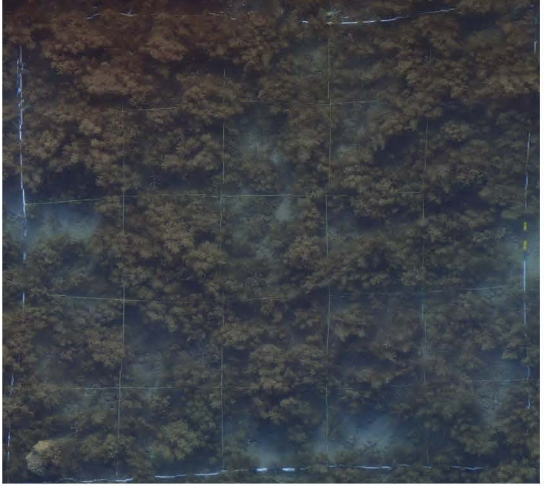
図 7.2.1-3 コドラート内の確認状況の経年変化 St.1 (その3)



供用前 (R4.8)



供用前 (R5.2)



存在時 (R5.9)

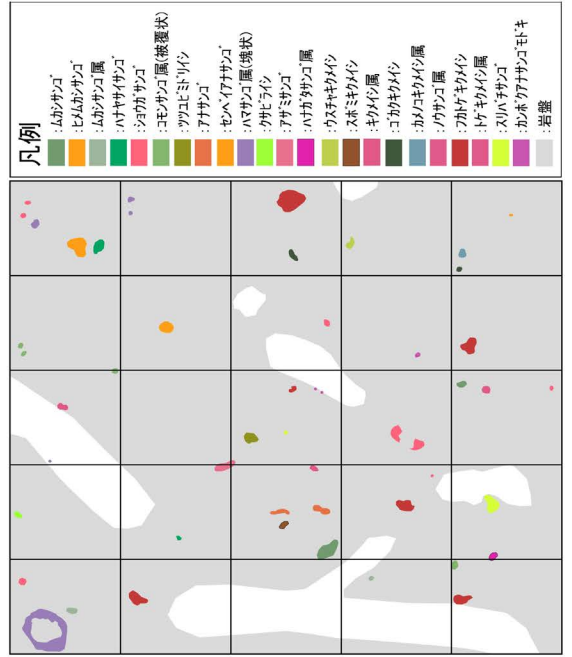
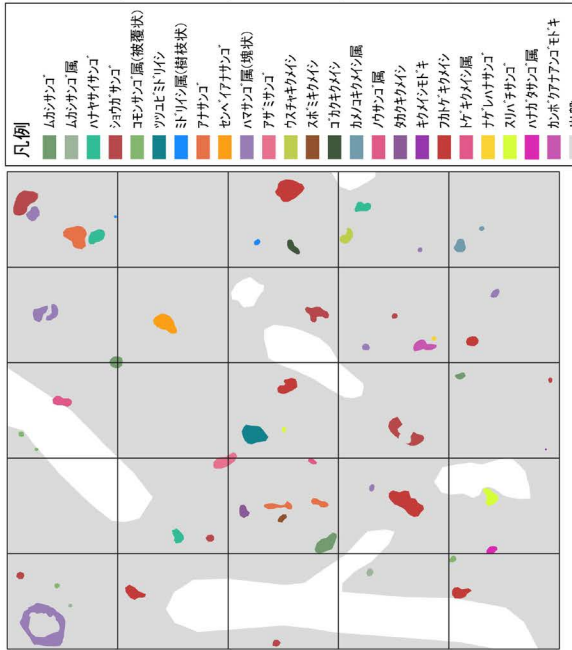
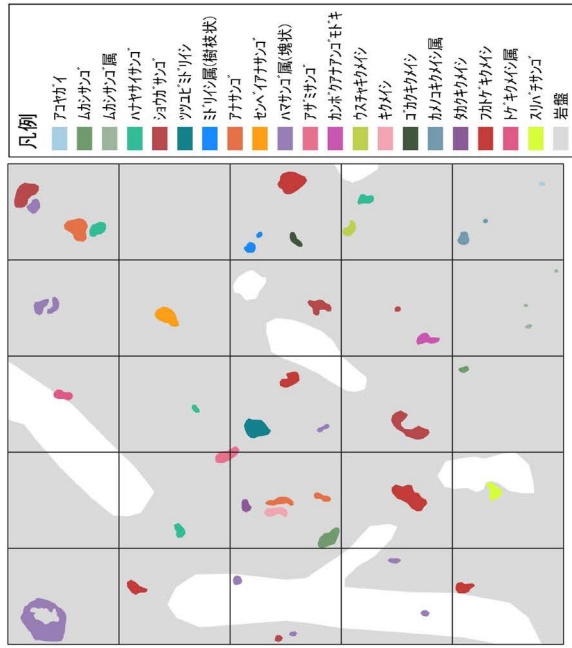
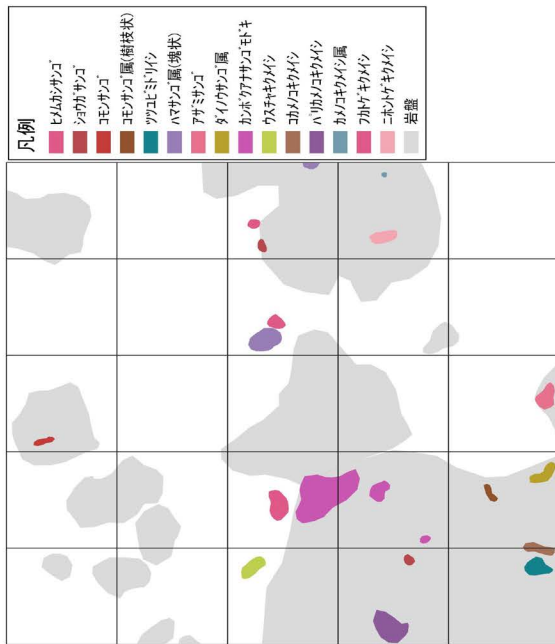
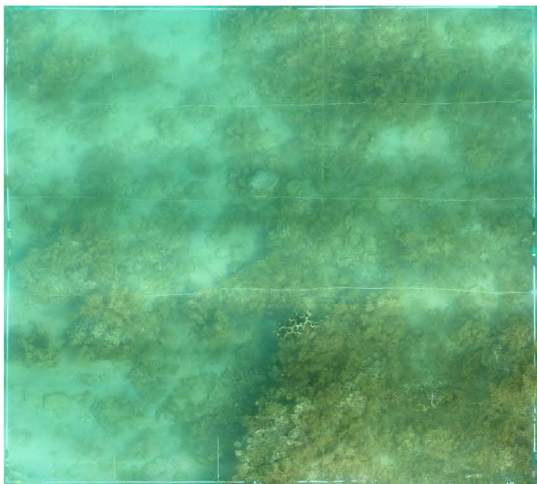
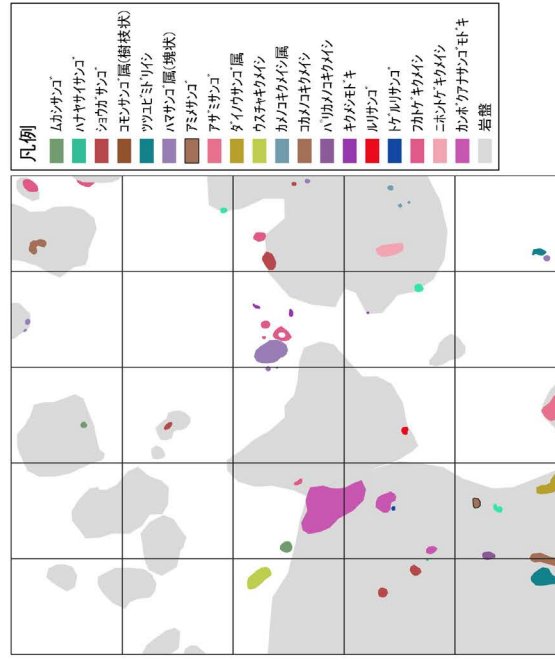


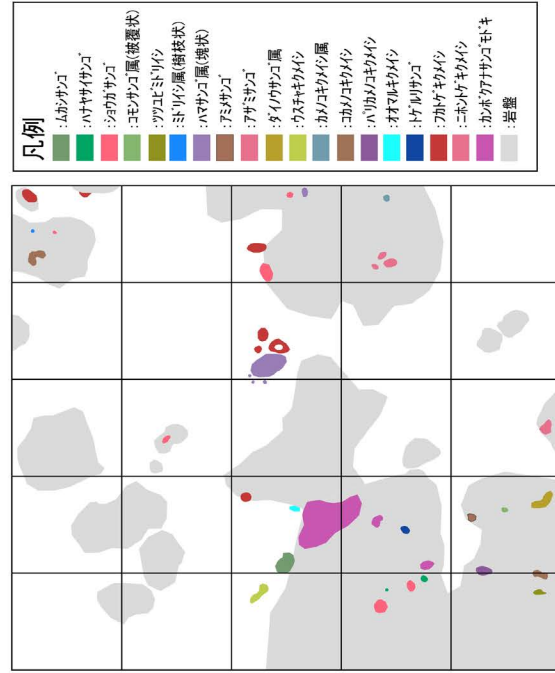
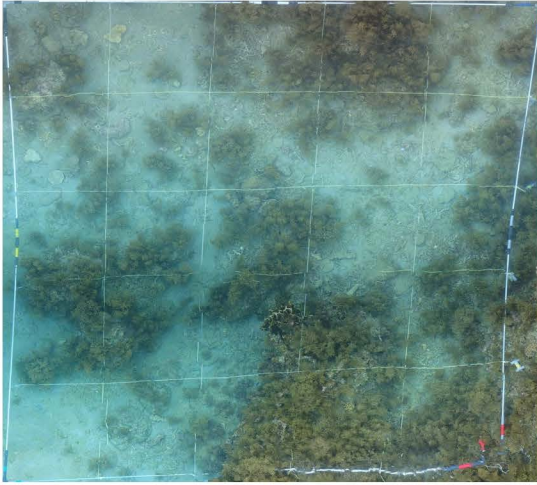
図 7.2.1-4 コドラート内の確認状況の経年変化 St.2 (その1)



供用前 (R4.8)

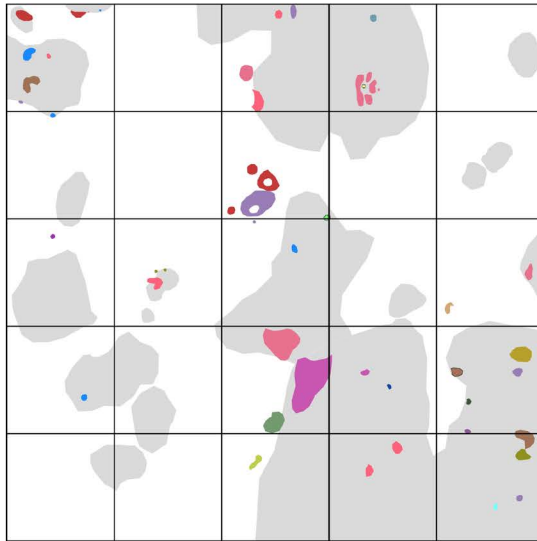
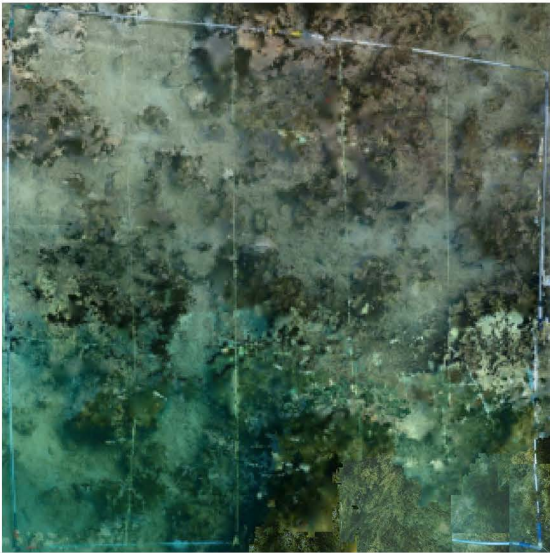


供用前 (R5.2)

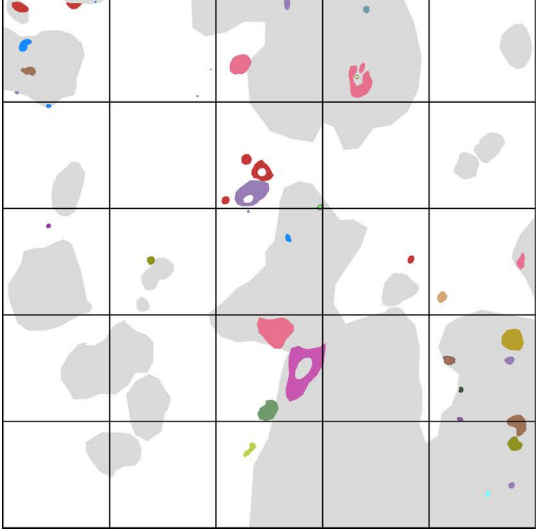
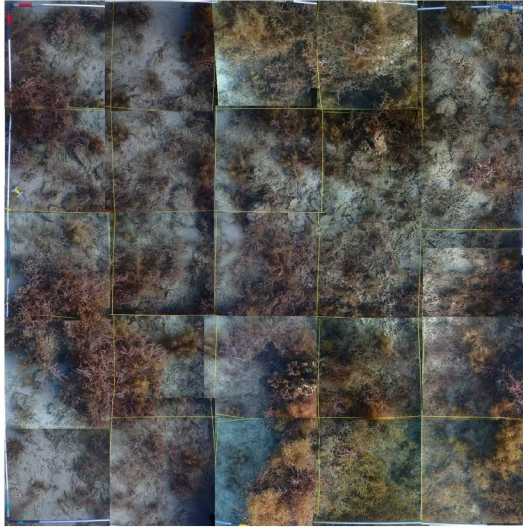


存在時 (R5.9)

図 7.2.1-5 コドラート内の確認状況の経年変化 St.3 (その1)

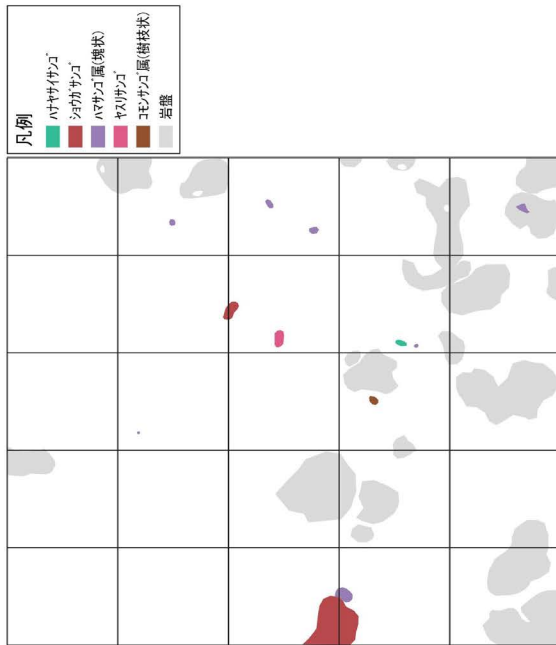


供用時 (R7.9)

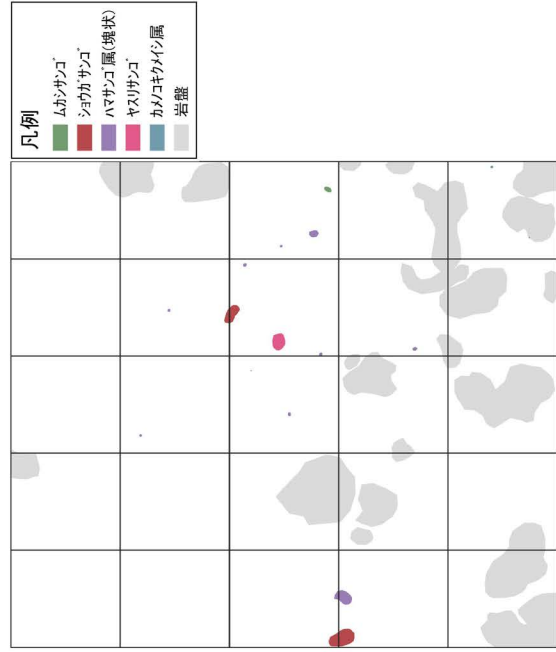
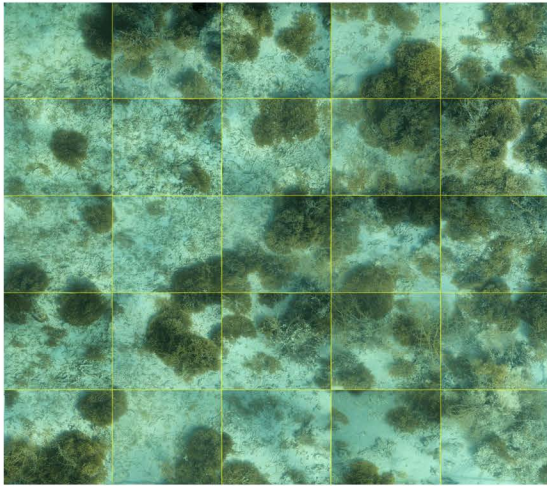


供用時 (R8.1)

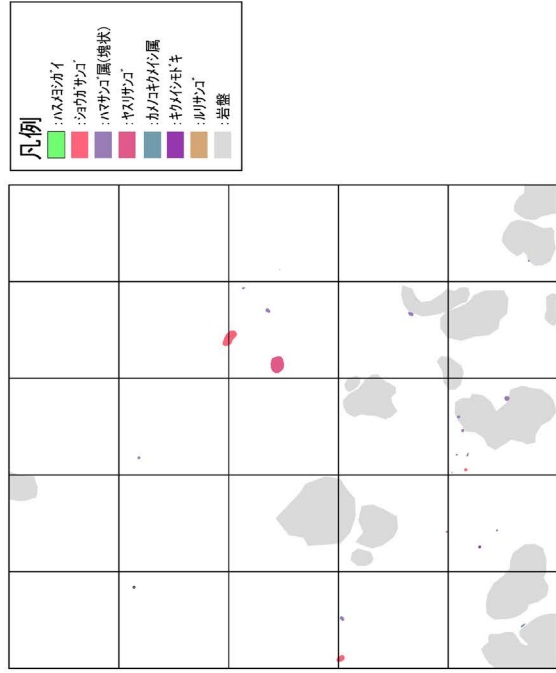
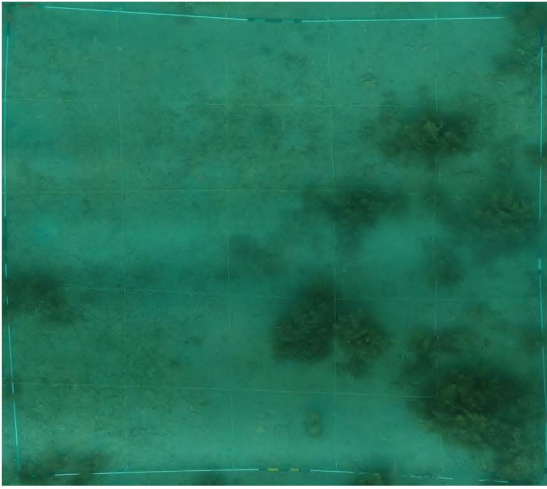
図 7.2.1-5 コドラート内の確認状況の経年変化 St.3 (その3)



供用前 (R4.8)

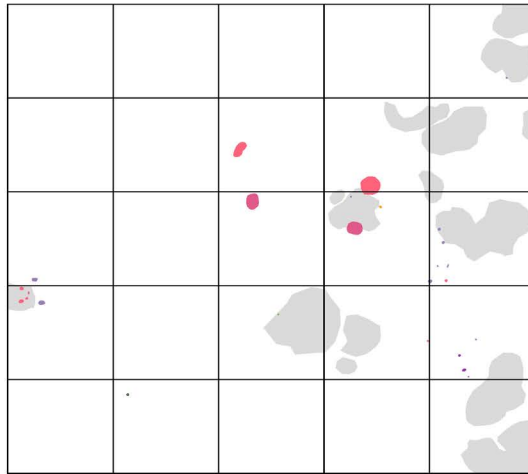
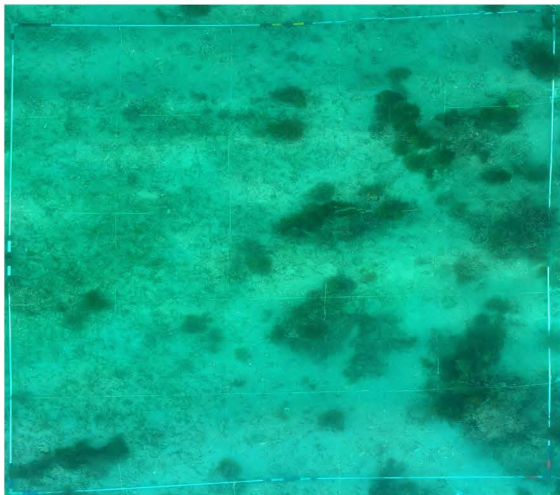


供用前 (R5.2)

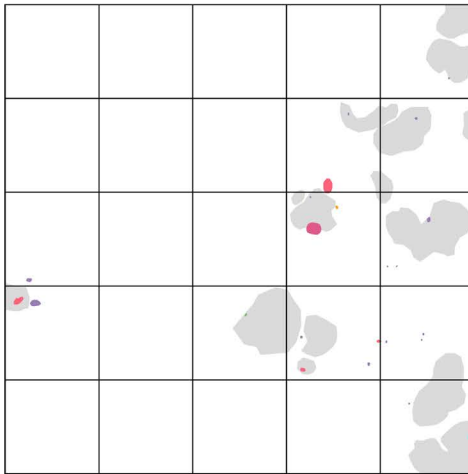
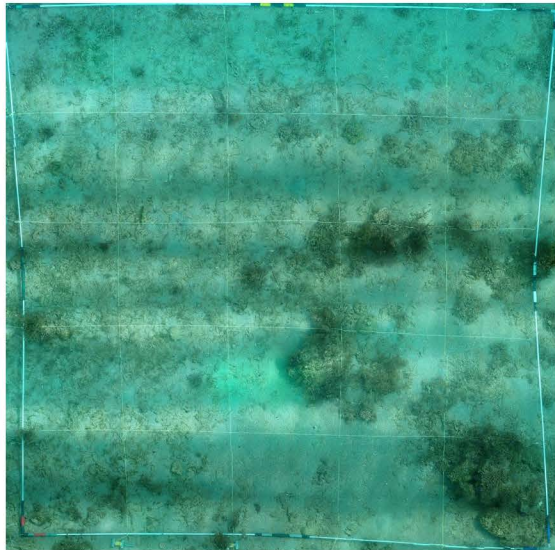


存在時 (R5.9)

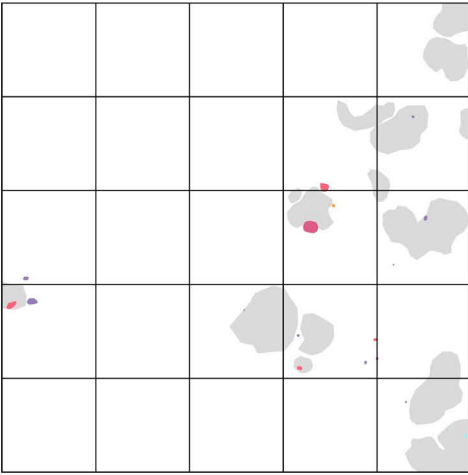
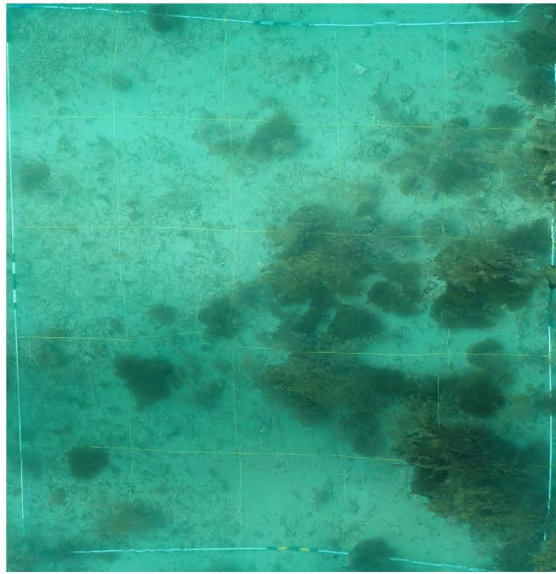
図 7.2.1-6 コドラート内の確認状況の経年変化 St.4 (その1)



供用時 (R6.2)



供用時 (R6.9)



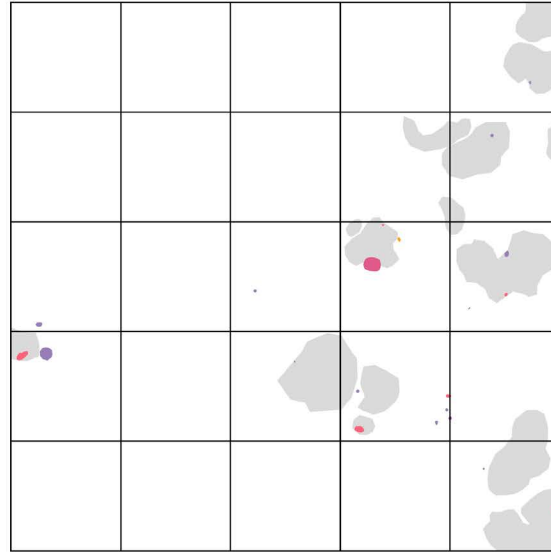
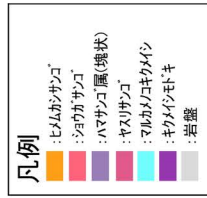
供用時 (R7.2)

凡例
 :ヒムカサゴ
 :シロササゴ
 :ハマササゴ(魚(塊状))
 :ヤスリサゴ
 :マルカサゴ
 :キクイロヒキ
 :岩盤

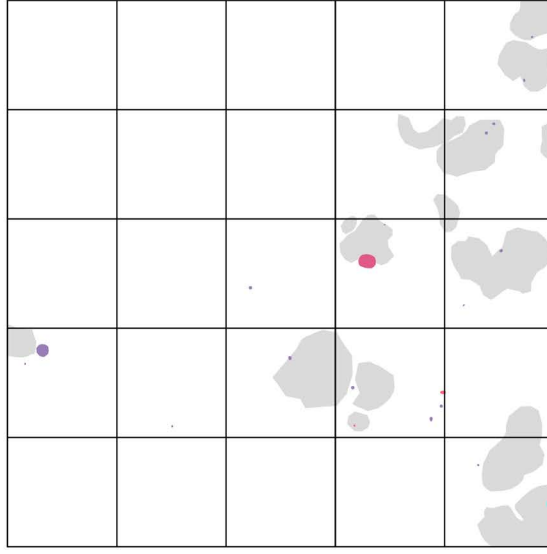
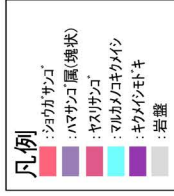
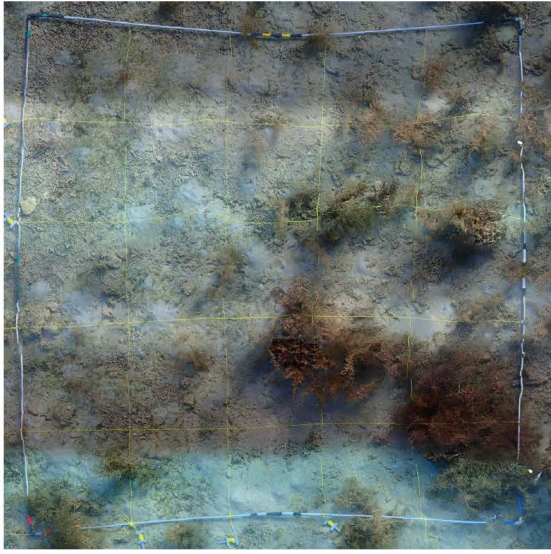
凡例
 :ヒムカサゴ
 :シロササゴ
 :ハマササゴ(魚(塊状))
 :ヤスリサゴ
 :マルカサゴ
 :キクイロヒキ
 :岩盤

凡例
 :ヒムカサゴ
 :シロササゴ
 :ハマササゴ(魚(塊状))
 :ヤスリサゴ
 :マルカサゴ
 :キクイロヒキ
 :岩盤

図 7.2.1-6 コドラート内の確認状況の経年変化 St.4 (その2)

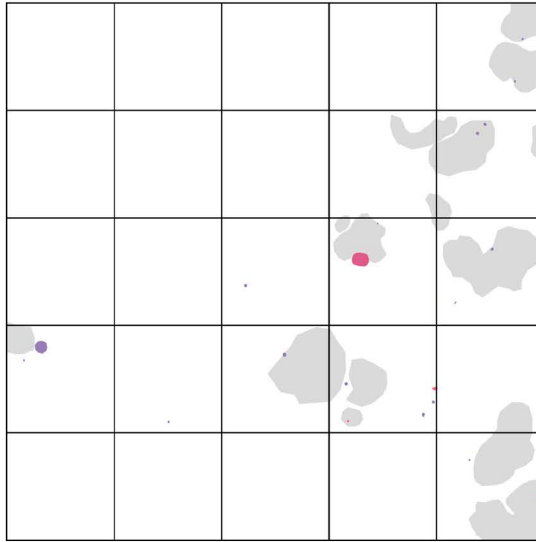
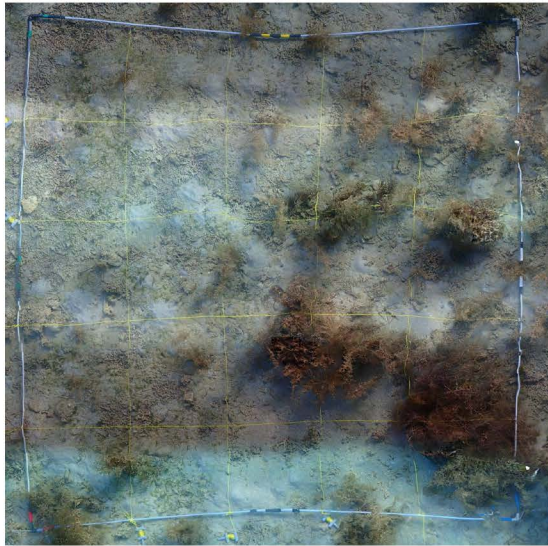
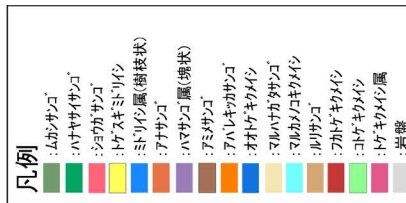
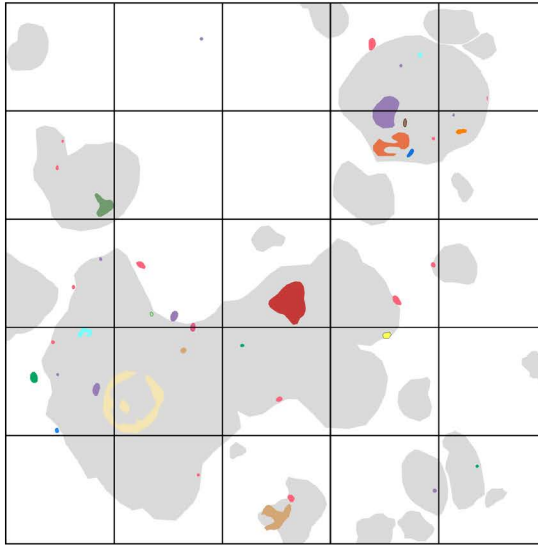
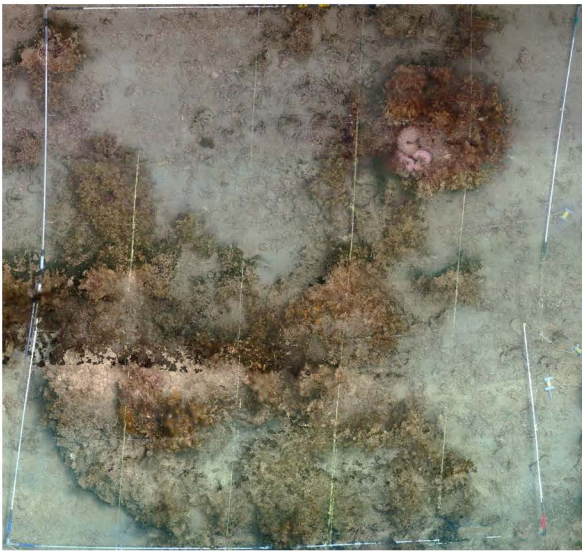


供用時 (R7.9)



供用時 (R8.1)

図 7.2.1-6 コドラート内の確認状況の経年変化 St.4 (その3)



供用時 (R7.9)

供用時 (R8.1)

図 7.2.1-7 コドラート内の確認状況の経年変化 St.5 (その3)